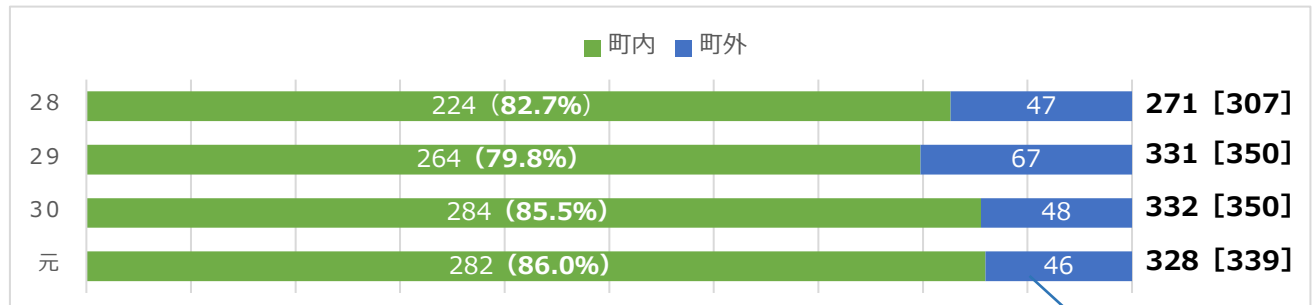


文化産業まつり アンケート結果（H28～R 元年度分）

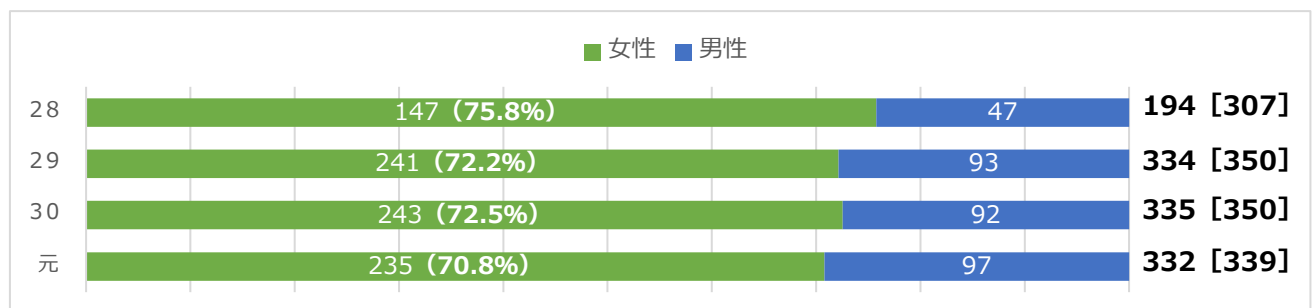
資料 2-2

1) 住まい

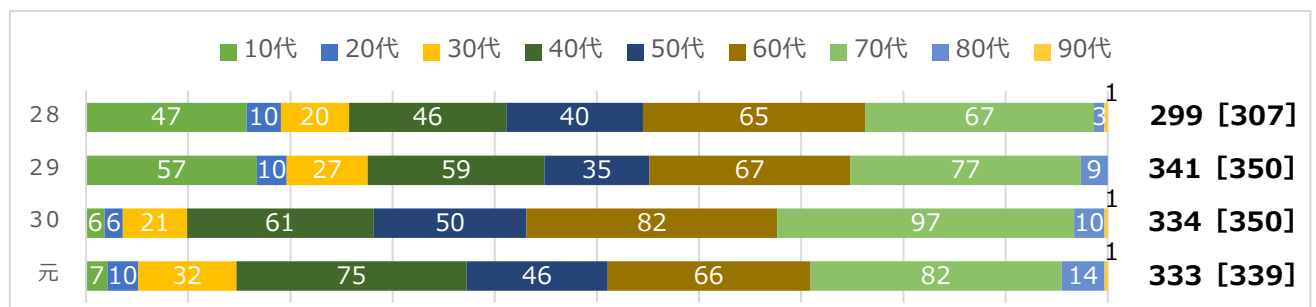


名古屋市 12、みよし市 8、豊明市 6、日進市 3、安城市 2、豊田市 1、刈谷市 1、岡崎市 1、大府市 1、東浦町 1、多治見市 1、可児市 1、記入なし 8

2) 性別

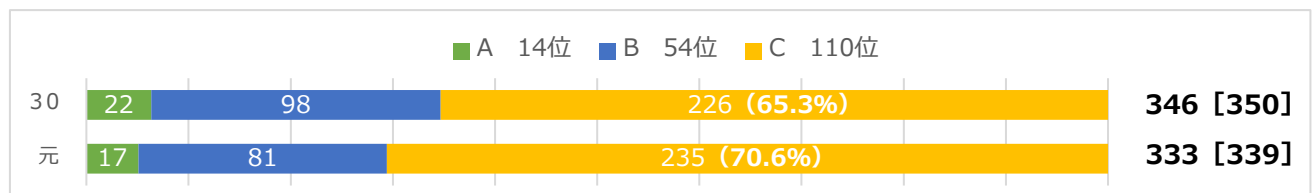


3) 年代

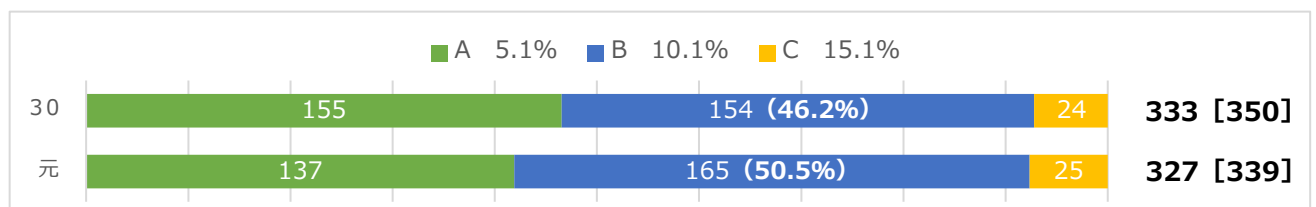


4) 正答率

●第1問 ジェンダーギャップ指数で 2018 年現在、日本は世界 149 カ国中、何位でしょう？



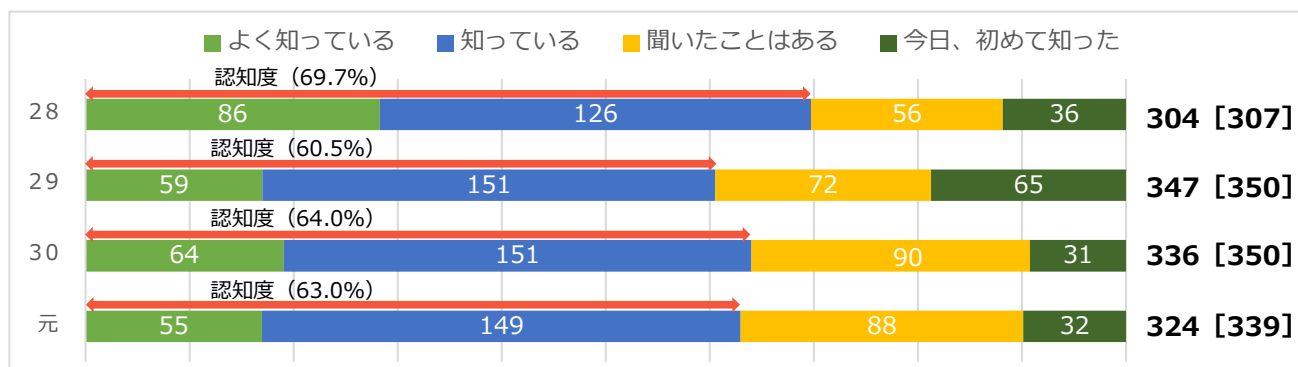
●第2問 2018 年現在、日本の衆議院議員の女性割合は何%でしょう？



5) クイズの感想 (175)

- ・勉強になった。
- ・難しかった。
- ・図やグラフで分かりやすい。
- ・日本も平等になってきたと思っていたが、世界的に見たらまだまだ低くて驚いた。
- ・他国に比べて低すぎる。遅れている。
- ・日本はもっと高いと思っていたので意外。
- ・衆議員の女性はもっと少ないと思っていた。
- ・衆議員の女性はもっと多いと思っていた。
- ・女性議員が増えると良いと思った。
- ・ただ平等ではなくお互い協力し、適材適所が良いと思う。
- ・男をたてるという風潮はまだある。
- ・日本女性の地位の低さに残念だと感じた。
- ・日本の男女格差は無くならないと思う。
- ・仕事を男性同様にこなせる制度や、周りの理解がまだまだだと思う。
- ・つい子どもに（～らしくと）言ってしまう。
- ・子どもは男女平等だが、大人は違う。
- ・家に帰って家族と話し合いたい。
- ・男女共同参画がもっと広まってほしい。
- ・啓発がもっと必要だと思った。
- ・自分の関心のなさを知った。
- ・日本の状況を知る・考える機会になって良かった。
- ・ハラスメントの現状や課題は特に興味深かった。
- ・選択方式で取り組みやすい。

6) 「男女共同参画」という言葉を知っているか



7) 東郷町が男女共同参画社会になっていくには、どうしたらいいと思うか。 (122)

- ・一人一人が意識を変える、高める。
- ・男女にとらわれず個性を大事にする。
- ・お互いの協力と理解。
- ・地道に長期的に取り組む。
- ・年寄りには若者に譲る。若者の参加・活躍。
- ・女性が働きやすい環境を整える。
- ・女性議員、女性リーダー格を増やす。
- ・企業、職場から見直すべき。
- ・男女の給与格差を是正する。
- ・メディア（TV・広報等）を利用する。
- ・講演やグループ討論で、周知・啓発を進める。
- ・学校教育やイベント時に周知活動をする。
- ・男女の役割分担をなくす。
- ・女性に優しく、子育てしやすい町づくり。
- ・女性が家庭から出られる風潮が必要。
- ・トピィを登場させた男女共同参画の絵本を作る。
- ・男性のコミュニティ作り。
- ・男女共同参画から共生社会へと幅を広げる。
- ・男女共同参画の先進国を見習う。